

地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修について

1. 趣旨

文化庁では、平成22年度より地域の日本語教育の中核を担う人材を対象とした、地域日本語教育コーディネーター研修を実施しており、今年度で8年目を迎えております。これまでに200名を超えるコーディネーターが本研修を受講され、各地の現場で活躍されています。

そこで、これまでの研修受講者を対象に、フォローアップ及び受講者間のネットワークの構築を目的とした研修を実施することにより、地域における日本語教育の更なる推進を図ります。

2. 主催 文化庁

3. 実施日時・実施会場

【東日本地域】

日 時：平成29年8月27日(日) 9:30～12:30

会 場：文部科学省(東京都千代田区霞が関3-2-2)

【西日本地域】

日 時：平成29年10月1日(日) 9:45～12:45

会 場：大阪市立総合生涯学習センター 第3研修室

(大阪府大阪市北区梅田1-2-2 500 大阪駅前第2ビル 5階)

4. 参加者 地域日本語教育コーディネーター研修受講者(受講年度は問いません。)

5. 定員 【東日本地域】 40名 (先着順)

【西日本地域】 20名 (先着順)

6. 経費負担

参加費は無料です。(参加に要する費用(旅費等)については参加者の自己負担とします。)

7. スケジュール

時間	内容
9:45	開会, 講師紹介 「共感を呼び、一緒に行動する仲間を増やすためのストーリーの語り方 ～ハーバード大学で教えられているパブリック・ナラティブを学ぶ～」
12:45	閉会

8. 講師

【東日本地域】安谷屋 貴子(あだにや たかこ), 林 大介(はやし だいすけ)

【西日本地域】会沢 裕貴(あいざわ ゆたか), 竹之下 惟基(たけのした ゆいき)

(以上, NPO法人コミュニティ・オーガナイズング・ジャパン)

共感を呼び、一緒に行動する仲間を増やすためのストーリーの語り方
～ハーバード大学で教えられているパブリック・ナラティブを学ぶ～

人が行動を起こす時，“心”が先に動いています。そして人が行動を起こす時，そこには必ずストーリー（物語）が生まれます。

なぜ自分が行動を起こしたか，自身のストーリーを語って聞き手の共感と呼ぶこと（=Story of Self）。聞き手と自分自身が共有する価値観や経験といった“私たち”のストーリーを語り，コミュニティとしての一体感を創り出すこと（=Story of Us）。いま行動を起こすことについてのストーリーを語ることで，共に行動する仲間を増やすこと（=Story of Now）。これらが有機的に組み合わせられた，人の心を動かす物語を，パブリック・ナラティブ（公で語る物語）と呼んでいます。

人の心を動かし，そして行動へと動かすストーリーの語り方を学んでみませんか？

【参加によって得られること】

- ・自分が大事にしている価値観（想い）に気づく
- ・共感と呼び，一緒に行動する仲間を作るためのストーリーの語り方を知る



PUBLIC NARRATIVE
パブリック ナラティブ

以上